

全国の情報は国立感染症研究所感染症疫学センターホームページにてご覧ください。 <http://www.nih.go.jp/niid/ia/from-idsc.html>

新型コロナウイルス感染症に関する情報

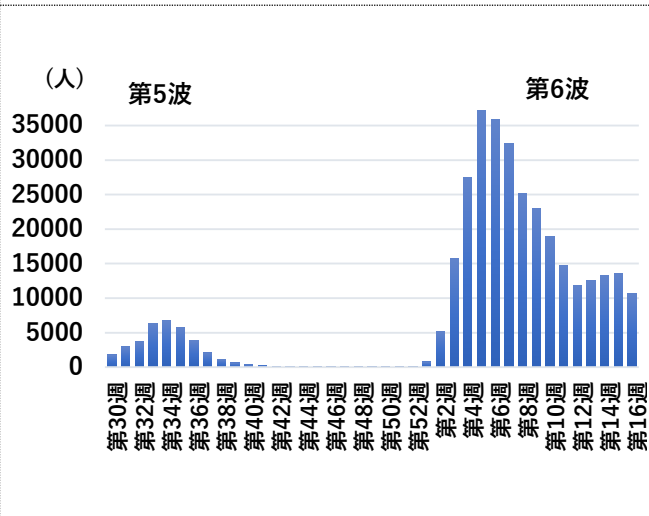
兵庫県内の新型コロナウイルス新規感染者数は今週 **10,632** 人(先週 **13,571** 人)で、対先週比 0.78 倍となり、減少に転じました。年齢階級別割合においては、先週同様 30 歳未満の若い世代が全体の 52% と、高い割合を占めています。一方、60 歳以上は全体の 9% と、低い割合を維持しています。

今週は、全国的にも新規感染者数の減少傾向が見られましたが、第 6 波のピークを上回ったり、感染者数が増加している地域もあります。これから大型連休に入りますが、期間中は人の移動や外出の機会が増えることが予想され、感染が再拡大する可能性があります。兵庫県では連休中も「同一テーブル 4 人以内、2 時間程度以内」の飲食を呼びかけています。また、引き続きマスクの着用、手洗い、換気、3 密の回避など、基本となる感染防止対策の徹底もよろしくをお願いします。

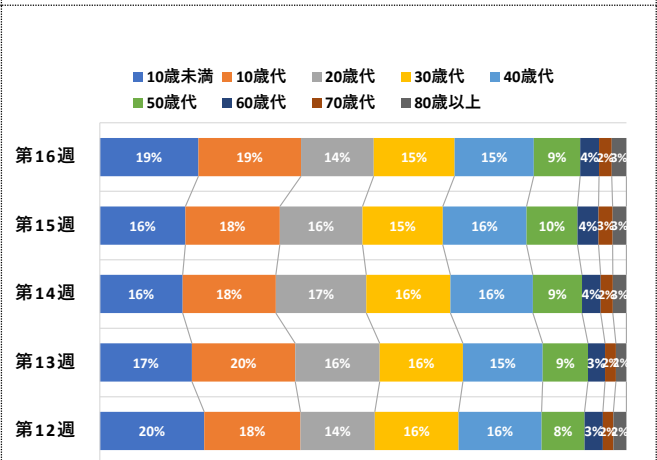
新型コロナウイルスに関する厚生労働省、国立感染症研究所、兵庫県の情報が兵庫県立健康科学研究所感染症部のホームページ (https://web.pref.hyogo.lg.jp/iphs01/kansensho_jyoho/infectdis.html) からご覧になれます。

*4月1日からHPが新しくなりました。旧HPは閲覧出来なくなりましたのでご注意ください。

新型コロナウイルス 新規感染者数の推移(週別)



新型コロナウイルス新規感染者の 年齢階級別割合(第12~16週)



定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症です)

定点あたり患者数の上位10位の疾病

順位	疾病名	定点あたり患者数		増減	順位	疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	感染性胃腸炎	3.43	3.34	+0.09	6位	咽頭結膜熱	0.07	0.04	+0.03
2位	突発性発しん	0.34	0.24	+0.10		無菌性髄膜炎	0.07	0.07	±0.00
3位	流行性角結膜炎	0.26	0.20	+0.06	8位	流行性耳下腺炎	0.06	0.02	+0.04
4位	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	0.20	0.14	+0.06	9位	水痘	0.05	0.03	+0.02
5位	細菌性髄膜炎	0.14	0.00	+0.14	10位	手足口病	0.04	0.09	-0.05

全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1 類感染症	報告はありません。
2 類感染症	結核 16人 （保健所：神戸市7人、尼崎市1人、西宮市2人、伊丹管内1人、宝塚管内1人、加古川管内3人、加東管内1人）
3 類感染症	報告はありません。
4 類感染症	報告はありません。
5 類感染症	<p>アメーバ赤痢 1人（神戸市；腸管アメーバ症；男性50歳代；感染地域：国内；感染経路：不明）</p> <p>カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1人（姫路市；女性70歳代；<i>Enterobacter cloacae</i>；感染地域：兵庫県；感染経路：手術部位感染）</p> <p>侵襲性インフルエンザ菌感染症 1人（加古川保健所管内；男性11ヶ月；感染地域：兵庫県；感染経路：不明；ワクチン接種歴：3回有）</p> <p>侵襲性肺炎球菌感染症 1人（加東保健所管内；女性60歳；感染地域：兵庫県；感染経路：飛沫・飛沫核感染；ワクチン接種歴：不明）</p> <p>梅毒 5人（①神戸市；早期顕症梅毒Ⅱ期；男性40歳代；感染地域：不明；感染経路：異性間性的接触、②神戸市；早期顕症梅毒Ⅰ期；女性40歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触、③尼崎市；早期顕症梅毒Ⅰ期；男性60歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触、④伊丹保健所管内；無症状病原体保有者；女性20歳代；感染地域：国内；感染経路：性的接触、⑤加東保健所管内；早期顕症梅毒Ⅱ期；男50歳代；感染地域：不明；感染経路：性的接触）</p>
2022年第15週までに診断されたものの報告遅れ	<p>結核 1人</p> <p>梅毒 2人</p>

梅毒

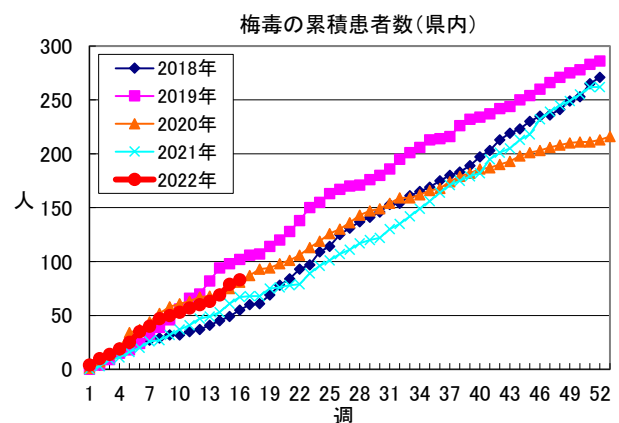
今週5人（先週9人）の報告があり、今年の累積患者数は84人となりました。

性別では、男性66人、女性18人と男性が多く、性風俗産業の利用歴が男性33人から、従事歴が女性3人、男性2人から報告されています。

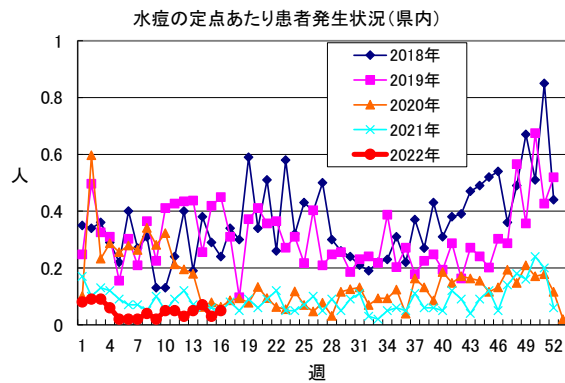
年齢階級別では、男性は50歳代16人、30歳代、15人、20歳代14人の順で多く、女性は20歳代7人、30歳代、40歳代3人の順で多くなっています。

病型別では、早期顕症梅毒のⅠ期が45人、Ⅱ期が24人、晩期顕症梅毒が2人、無症状病原体保有者が13人となっています。

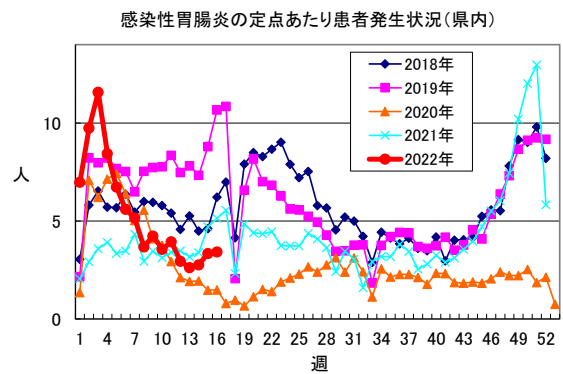
感染原因は、性的接触73人（異性間61人、同性間2人、不明10人）、原因不明11人で、推定感染地域は、国内67人、不明17人でした。



目で見る動向（県内）

水痘 

福崎保健所管内で、定点あたり患者数が注意レベル開始基準値である 1.0 以上となっています。

感染性胃腸炎 

定点あたりの患者数は 3.43 人（先週 3.34 人）で増加しています。

この週報は兵庫県立健康科学研究所ホームページ（https://web.pref.hyogo.lg.jp/iphs01/kansensho_jyoho/infectdis.html）にも掲載しています。また、<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html> から国立感染症研究所感染症疫学センターの週報（IDWR）がダウンロードできます。